

結核対策国際研修コースが開講しました

結核研究所（東京都・清瀬市）にて、5月29日、結核高まん延国等の医師らを対象とした国際研修「ユニバーサルヘルスカバレッジ時代における結核制圧コース」の開講式が行われました。

本研修はJICA(国際協力機構)委託事業として毎年行われているもので、今回は10カ国から13名が参加しています（アフガニスタン、イラク、ケニア、フィリピン、ソロモン諸島、タイ、東ティモール、ザンビア、中国、日本）。

約2ヵ月にわたり、講義やワークショップ、帰国後の活動計画（対策改善に関する研究を含めた活動計画）についての個別指導、日本の結核対策の視察（横浜市）を通じて自国の結核対策を推進する力を養います。

（文責：結核研究所国際協力・結核国際情報センター国際研修科）

